

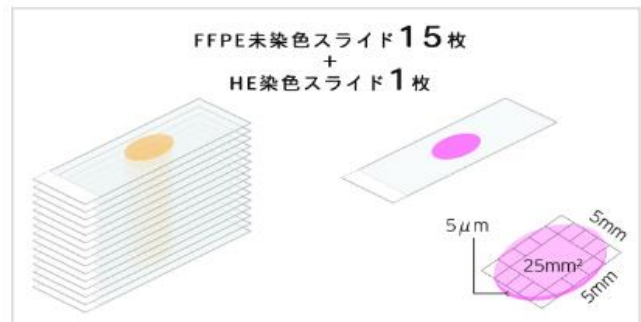
FFPE ブロックの取り扱い

※FFPE ブロック作製においては、がんゲノム検査の品質と精度を確保するために、「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程（日本病理学会）」や「がんゲノム検査全般に関する指針（日本病理学会・日本臨床検査医学会）」等に記載された条件に従い、検体を適切に取り扱ってください。以下に推奨条件を記載します。

- ☐ 組織の 10 倍量以上の 10%中性緩衝ホルマリン溶液を用い、6～48 時間浸漬固定されたもの
- ☐ 酸脱灰されていないこと（EDTA 脱灰は除く）
- ☐ FFPE ブロック保管期間は、3 年以内であること（5 年以上は原則不可。保管条件、固定条件によっては 3 年以内のブロックでも解析できないことがあります）

FFPE 薄切標本の準備

- ☐ 有核腫瘍細胞割合（全有核細胞における腫瘍細胞の割合）が、20%以上であることを確認してください（推奨は 30%以上。肝組織の場合はより多くの腫瘍細胞割合が必要）。
- ☐ 組織の表面積が 25 mm^2 以上の場合、厚さ $5 \mu\text{m}$ の未染剥離防止コートスライド 15 枚と HE 染色スライド 1 枚を作製してください。



- ☐ 組織の表面積が 25 mm^2 未満の場合、切片の合計体積が 1 mm^3 以上になるように、厚さ $5 \mu\text{m}$ の未染コートスライドの枚数を追加してください。
（例 10 mm^2 の場合、厚さ $5 \mu\text{m}$ で 20 枚以上必要となります。また、有核腫瘍細胞割合が 30% 未満の場合も多めに作製してください。）
- ☐ 薄切の前には、手袋の着用、必ずミクロトームの清掃 および 替え刃を交換し、他検体のコンタミネーションがないようご注意ください。また、薄切水槽も新しい水に交換してください。
- ☐ 未染色スライドは、正電荷スライドガラス（剥離防止コートスライドガラス）を用いてください。
- ☐ 全てのスライドに、同一の「検体管理番号」を鉛筆でご記入ください（氏名は記載しないでください）。
- ☐ 1 枚のスライドには、一つの切片のみを載せ、全て同一ブロックから薄切してください。
- ☐ 薄切後は、進展・乾燥のための加熱を避け、常温で管理してください。
- ☐ 当院にてスライドを確認させていただき、遺伝子パネル検査に適さないと判定された場合、追加の薄切もしくはブロックを変更してスライドの作成をお願いさせていただくことがあります。
- ☐ 上記推奨条件を満たさない標本を検査に提出する事自体は可能ですが、解析できない、または有意義な解析結果が得られない可能性があります。
- ☐ ご提供いただいたスライドは、お返しできませんのでご了承ください。

※ご不明の点は、当院臨床検査科 遺伝子検査担当（代表 TEL：026-295-1199 内線 4331）までご連絡下さい。